

平成 27 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ イ コ ー
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 名 屋 佑 一 郎
 (コード番号 : 6 7 8 7 J A S D A Q)
 問 合 せ 先 渉 外 部 二 宮 政 士
 T E L 0 4 6 7 - 7 6 - 6 0 0 1

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）において、特別損失を計上するとともに、平成 27 年 8 月 13 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は平成 27 年 8 月 13 日に経営合理化策を公表いたしましたが、その施策の遂行上で発生した費用として 337 百万円を事業構造改善費用として特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想の修正

- (1) 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正
 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 予 想 (A)	百万円 95,500	百万円 2,000	百万円 1,100	百万円 △9,200	円 銭 △351.49
今 回 予 想 (B)	93,100	2,400	400	△9,800	△374.42
増 減 額 (B-A)	△2,400	400	△700	△600	
増 減 率 (%)	△2.5	20.0	△63.6	—	
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 27 年 3 月 期)	90,895	△2,865	1,075	△9,573	△365.76

(2) 修正の理由

売上高につきましては、車載向け及び海外スマートフォン向けを中心に販売は好調に推移してきておりますが、第 4 四半期以降のスマートフォン市場の状況や中国の春節期の稼働率低下による販売減のリスク等を検討した結果、前回予想に比べて 24 億円減少し 931 億円の見込みとなります。

営業利益につきましては、前年度から進めている歩留まり改善、および平成 27 年 8 月 13

日に公表いたしました経営合理化策の実施にともなう人員削減等による固定費・販管費の削減、また、減損損失計上による減価償却費減などにより、前回予想に対して4億円増加の24億円の見込みとなります。

経常利益につきましては、為替レートの影響を慎重に見極めた結果、円高による当社グループが保有する外貨建債権債務の期末為替レートによる評価替えにより発生する為替差損による営業外損失の発生により、前回予想に対して7億円未達の4億円の見込みとなります。

尚、平成28年3月期末の為替レートは1ドル117円を想定しております。

親会社株主に帰属する当期純損失につきましても、経常利益の悪化等により、前回予想に対して6億円悪化の△98億円の赤字の見込みとなります。

以上の理由により、平成27年8月13日に公表致しました通期連結業績予想を上表のとおり修正いたしました。

以上

<業績予想に関する注意事項>

この資料に記載されております業績予想の数値につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますので、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして実際の業績は、今後様々な要因により、この資料に記載されている業績の予想数値と異なる可能性があります。